

TOSHIBA

東芝電子レンジ 家庭用

取扱説明書

日本国内専用
Use only in Japan

形名

ER-S17E6



もくじ

準備と確認	安全上のご注意……………	1~5
	加熱のしくみ……………	5
	使える容器・使えない容器……………	6
	各部のなまえとはたらき……………	7
調理のしかた	レンジで加熱する……………	8
	レンジ加熱の設定時間の目安……………	9
	上手に使うコツ……………	10
こんなときは	お手入れのしかた……………	11
	修理を依頼される前に……………	12
	保証とアフターサービス……………	13
	仕様……………	裏表紙

- このたびは東芝電子レンジをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

初めに必ずしましょう!

STEP

1

「安全上のご注意」を読む (1~5ページ)

*必ず守っていただきたいことが記載してあります。

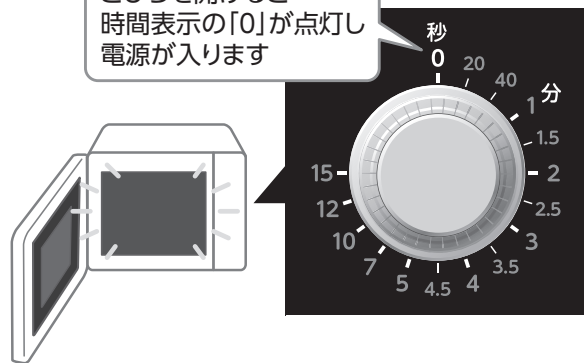


STEP

2

電源プラグを差し込み、とびらを開閉する

とびらを開けると
時間表示の「0」が点灯し
電源が入ります



省エネ機能

オートパワーオフ

使用していないときは自動的に電源が切れる機能です。

■ 15分以上操作をしなかったとき、自動で電源が切れます。(時間表示の「0」が消灯します)



とびらを開けると電源が入ります

時間表示の「0」が点灯します(電源プラグを差し込んだだけでは電源は入りません)

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

● 人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■ 記載事項を守らない使いかたで生じる危害や損害の程度を、区別して説明しています。

■ お守りいただく内容を、図記号で区分して説明しています。



危険 「死亡」や「重傷」を負うおそれが特に高い内容



してはいけない「禁止」内容



警告 「死亡」や「重傷」を負う可能性が想定される内容



「指示を守る」内容



注意 「軽傷」や「家屋・家財などの損害」が発生する可能性が想定される内容



「注意をうながす」内容

準備と確認

安全上のご注意

内部には高圧部があります



危険

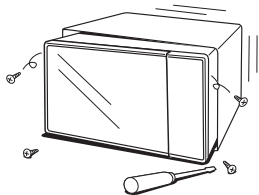


分解禁止

自分で分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

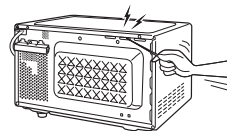


禁止

吸気口・排気口・穴などにピンや針金などの金属物または異物、指を入れない

感電・けがの原因になります。

もし、異物が入ったときは、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。



電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い



警告



コンセントを単独に使用

電源は、交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。



禁止

傷んだ電源コードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない

火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグを傷つけない

加工する、排気口などの高温部に近づける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重いものをのせる、挟み込むなどすると、コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因になります。



ほこりを取る

電源プラグのほこりは、乾いた布で定期的に取り除く

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

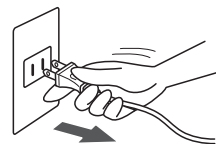
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。



コンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

絶縁劣化により漏電火災の原因になります。



据え付けるとき

警告



使用前に、包装材はすべて取り除く

包装材を取り除く

取り除かないと運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。



包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管または廃棄する

頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。



水のかかるところや蒸気の出る機器および火気の近くでは使用しない

禁止

火災・感電・漏電の原因になります。



禁止

燃えやすいもの、熱に弱いものを本体に近づけない

スプレー缶などを近づけない

焦げや、火災の原因になります。

スプレー缶は引火や破裂のおそれがあります。たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの上に置いたり、カーテンなどを近づけないでください。

また、熱に弱い家具・コンセントのある壁面・熱に弱い壁材に排気口を向けて設置する場合は、熱変形するおそれがあるため、遠ざけてください。



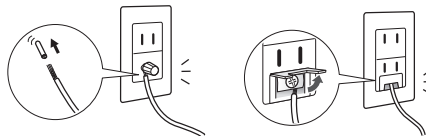
アースを接続する

アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース端子がないとき、アース線の長さが足りないときなどは、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

●アース端子を使う場合

- アース線が本体のアースねじにしっかり接続していることを確認してから、アース線先端の皮をむき、芯線部をアース端子につなぐ。電源プラグを抜いた状態で接続してください。



ふたつきの場合は、開けてつなぐ。

●アース端子がない場合

- アース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)を行ってください。工事はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

ご注意

ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。

■次の場合はアース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)をするように法律で義務付けられています

- 湿気の多い場所
飲食店の厨房、土間、コンクリート床、酒・しょう油などの醸造・貯蔵所など
- 水気のある場所(漏電遮断器の取り付けも義務付けられています)
生鮮食品店の作業場など水の飛び散るところ、土間・地下室のように水滴が漏出したり結露するところ

注意

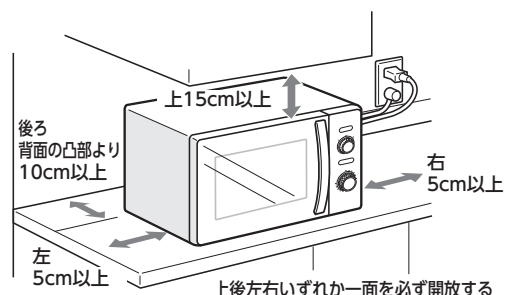


壁との間をあける

壁との間をあけて置く

過熱し火災の原因になります。製品の後方・側面には庫内からの排気口があります。

- 熱に弱い壁・家電製品・家具・コンセントがある場合は、右記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。また、コンセントが排気口の近くにあたり、汚れが気になるときも、排気が直接当たらないよう右記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。
- 後方がガラスの場合、温度差で割れるおそれがあるので、20cm以上あけてください。(あけても温度差によって割れることがあります)
- 排気による壁の汚れや結露が気になる場合は、壁との距離をあけるか、壁面にアルミホイルなどを貼ると壁の汚れや蒸気の影響を軽減できます。(アルミホイルを製品に貼らないでください)



⚠ 注意



平らな
場所に置く

十分な強度を持った平らな場所に置く

強度が不十分なテーブルや傾いた場所に置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。また、結露水が床にこぼれる場合があります。

もし地震などで転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくてもそのまま使用せずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。本体の落下・転倒を防ぐための転倒防止金具(別売り: 部品コード32582136)をお求めの方は販売店にご相談ください。

使用するとき

⚠ 警告



異常時は
使用を
中止する

異常・故障時には直ちに使用を中止する

発火や発煙、感電のおそれがあります。

〈異常・故障例〉

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- 使用中に異常な音や臭いがする。
- 自動的に電源が切れないことがある。
- スパーク(火花)または煙が出ることもある。
- とびらに著しいガタつきや変形がある。
- 触れると電気を感じる。

■すぐに電源プラグを抜いて、販売店に点検・修理を依頼してください。



禁止

調理中に、電源プラグを抜き差ししない

抜き差しすると火花が発生し、火災・感電の原因になります。



禁止

調理以外の目的には使用しない

過熱・異常動作して、やけど・けが・破損・火災の原因になります。衣類・布巾類・市販のレンジ加熱用湯たんぽ・哺乳瓶(消毒バッグ)・カイロ・風呂湯保温器などは加熱しないでください。



禁止

本体の上に、ものを置いたり、布などをかぶせたりしない

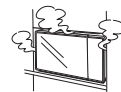
置いたものが過熱し、変形・焦げ・発火・火災の原因になります。



禁止

吸気口や排気口をふさがない

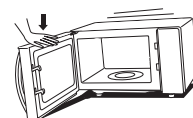
火災の原因になります。



禁止

とびらや庫内に、無理な力や衝撃を加えない とびらにぶらさがったり、乗ったりしない

変形し、電波漏れによる人体障害のおそれがあります。また、とびらにぶらさがったり、乗ったりすると、本体が転倒・落下し、けがをする原因になります。



禁止

取り扱いに不慣れな方やお子様だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない

⚠ 注意



禁止

とびらにもものをはさんだまま使用しない

電波漏れによる、人体障害や発火のおそれがあります。



禁止

庫内底面、とびらのガラスに物をぶついたり衝撃を加えない

破損して、けがの原因になります。容器や茶わんの出し入れのときは、庫内底面やとびらのガラスにぶつけないようにしてください。ガラスに傷が付くと、使用中割れることがあります。



注意

とびらを開閉するときは、指のはさみ込みに注意する

やけど・けがの原因になります。



禁止

庫内で食品が燃えたときは、とびらを開けない

とびらを開けると酸素が入り、勢いよく燃え、火災の原因になります。

- 食品が燃えたときは次の手順で処置してください。
 - ①とびらを閉めたまま、時間合わせダイヤルを「0」の位置に戻し、運転を停止する。
 - ②電源プラグを抜く。
 - ③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。
 - ④鎮火しないときは、水か消火器で消火する。
- そのまま使用せずに、販売店に点検を依頼してください。

レンジ加熱のとき

警告



食品は加熱しすぎない

食品の分量に対して、加熱時間が長いと発煙・発火・火災・やけどの原因となります。

- 9ページの設定時間の目安を参考に時間を控えめに設定し、様子を見ながら加熱してください。
- 特に、少量、油のついた食品(バター付きパン、フライなど)、水分の少ないもの(ポップコーンなど)、根菜類(さつまいも、にんじんなど)、高温になりやすいもの(あんまんなど)は気をつけてください。



缶詰・ビン詰・袋詰・レトルト食品・真空パック入り食品は移し替える 鮮度保持剤(脱酸素剤)は取り除く

発火・破裂・製品の破損・けが・やけどの原因になります。



ベビーフードや介護食をあたためるときは、加熱後かき混ぜてから温度を確認する

やけどのおそれがあります。



ふたを取る
殻に切れ目
を入れる

密閉性の高い容器のふたやせんをはずし、皮や殻・膜のある食品(いか、栗、ぎんなんなど)は、切れ目や割れ目を入れる

破裂して、衝撃による庫内底面の割れなどで、けが・やけどの原因になります。



飲みもの・油脂の多い食品は加熱しすぎない

取り出すとき・取り出したあとに突然沸騰し、やけどの原因になります。また、液体にインスタントコーヒーなどの粉末状のものを入れたときに、突然沸騰する場合があります。

- 飲みものは、9ページの設定時間の目安を参考に時間を控えめに設定し、様子を見ながら加熱してください。
- 加熱しすぎたときは、そのまま2分以上おいて庫内で冷ましてから取り出してください。
- 低めで広口の容器を使ってください。
- 飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。

突沸



飲みもの：コーヒー、牛乳、豆乳、水、ヨーグルトなどの液体、みそ汁などの汁物
油脂の多い食品：生クリーム、バターなど
とろみのある食品：カレー、シチュー、粒入りスープなど



禁止

生卵やゆで卵(殻付き、殻なし)、目玉焼きは加熱しない

卵が破裂して衝撃による庫内底面の割れなどで、けが・やけどの原因になります。また、取り出したあとに、突然破裂することもあります。

- 卵はよく割りほぐしてから加熱してください。
- ゆで卵(おでん、八宝菜などの卵)のあたためなおしもしないでください。



注意



禁止

アルミホイル・金属容器・金串・金属のひも・アルミテープ・アルミなど金属で表面加工された容器や袋は使わない

火花が発生し、庫内底面やとびらのガラス割れなどでけがの原因になります。



禁止

庫内がカラのまま加熱しない

火花が出たり、本体や庫内が異常に加熱され、高温になり、やけどの原因になります。また長時間加熱や、少量の食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になりますので終了直後は庫内に触れないでください。



高温注意

食器や食品を取り出すとき、ラップをはずすときなどは注意する

高温になっていたり、ラップをはずすときに蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。

レンジ加熱のとき(つづき)

⚠ 注意



接触禁止

調理中や調理後は、高温部(庫内・とびら・本体・排気口)には触れない

高温のため、やけどの原因になります。



水ぬれ禁止

調理中や調理後は、とびら・庫内などに水をかけたり、急に冷却しない

割れてけがをしたり、変形の原因となります。また、発生する蒸気やしぶきでやけどの原因になります。

お手入れ

⚠ 警告



プラグを抜き冷めてから

本体のお手入れは電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う

感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

庫内やとびらに付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しない

電波が汚れた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火などのおそれがあります。また、さびの原因になります。

・付着した場合は、本体が冷めてから必ずその都度拭き取ってください。

お願い

テレビ・ラジオ・アンテナ線などから4m以上離す

画像や音声などが乱れる原因になります。

製品の近くでは無線LAN機器の通信性能が低下することがあります

無線LAN機器の取扱説明書などをお読みのうえご使用ください。

熱や、蒸気から離す

炊飯器・ポットなどの蒸気が、本体や操作部にかからないようにしてください。故障することがあります。

蒸気がかからない位置でご使用ください。

本体の移動の際は気をつける

製品を左右から抱きかかえるように確実に持って、移動してください。

加熱のしくみ

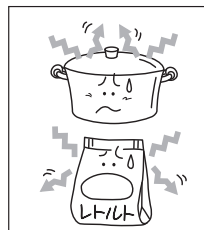
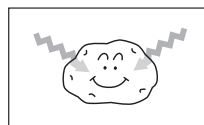
レンジ加熱

電波で食品を加熱します。

・金串などの金属物は使えません。

電波の性質 ・電波が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子にまさつ運動が起こります。その結果、熱が発生し、食品は内部と外部が同時に加熱されます。

・陶器や磁器などは電波を通しますが、金属製の容器や、アルミニウムのレトルトパックなどは電波を反射するので加熱できません。



レンジ調理のポイント

- 加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。分量を2倍にした場合は、加熱時間も2倍弱に合わせてください。
- レンジ加熱は食品の水分が飛び、乾燥したり固くなりやすいので、時間は短めに設定して、様子を見ながら加熱してください。

使える容器・使えない容器

加熱する前に確認してください。間違えると発煙・発火のおそれがあります。

お願い ここに記載のない容器の使いかたについては、販売メーカーまたは容器の製造メーカーにお問い合わせください。

○ 使える容器

耐熱ガラス



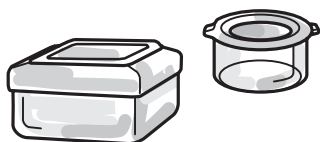
- ただし、加熱後急冷すると、割れることがあります。

陶器・磁器



- ただし、下記の容器は使えません。
 - ・金銀を使った容器(火花が飛ぶ)
 - ・色絵が付いた容器(絵がはげる)
- 電波で容器が熱くなるものがあります。やけどに注意してください。

耐熱温度140℃以上の プラスチック容器



- ただし、下記のもの使えません。
 - ・油脂・糖分・塩分の多い食品、ケチャップなど(高温になる)
 - ・密閉性の高いふた、熱に弱いふた
 - ・「電子レンジ使用可」表示のない容器
 - ・アルミなど金属で表面加工された容器や袋
 - ・市販のレンジゆで卵器

耐熱温度140℃以上のラップ



- ただし、油分の多い料理は高温になるので使えません。
- ポリエチレン製のラップは、溶けて燃えることがあるので使えません。

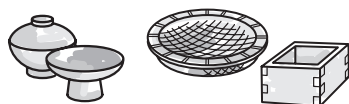
× 使えない容器

耐熱性のない ガラス



- カットガラスや強化ガラスなどは使えません。
- ガラスの厚みの変化が大きなもの、ひずみのあるものも使えません。

漆器、木・竹・紙製品



- 塗りがはがれたり、ヒビが入るおそれがあります。
- スパーク(火花)が発生したり、燃えたりすることがあります。
- ただし、耐熱加工を施した紙・オープンシート・クッキングシート・ケーキ用硫酸紙はパッケージの耐熱温度に従って使うことができます。

アルミニウム・ホーローなどの 金属容器、金網、金串、アルミホイル

- 特に、金網・金串は火花が飛ぶことがあります。
- ただし、アルミホイルはレンジ(解凍・お酒)で部分的に使うこともあります。本書の記載に従って、使ってください。

耐熱温度140℃未満の プラスチック容器・ラップ

- 溶けて変形したり、割れたりすることがあります。
- ポリエチレン・スチロール・フェノール・メラミン・ユリア樹脂などは使えません。

各部のなまえとはたらき

操作部

出力設定ダイヤル

レンジの出力設定に使用します。

- ・ダイヤルは確実に目盛の位置に合わせてください。
- ・加熱中に出力を切り換えしないでください。
(加熱中に出力設定ダイヤルを切り換えても出力は変わりません)
- 加熱中に出力を切り換えたい場合は、一度とびらを開閉して最初からやり直してください。

時間合わせダイヤル

加熱時間の設定に使用します。

- ・とびらが開いた状態では、時間設定を受け付けません。
とびらを閉めて、設定してください。
- ・途中で加熱を止めるときは、時間合わせダイヤルを「0」の位置に戻すか、とびらを開けてください。



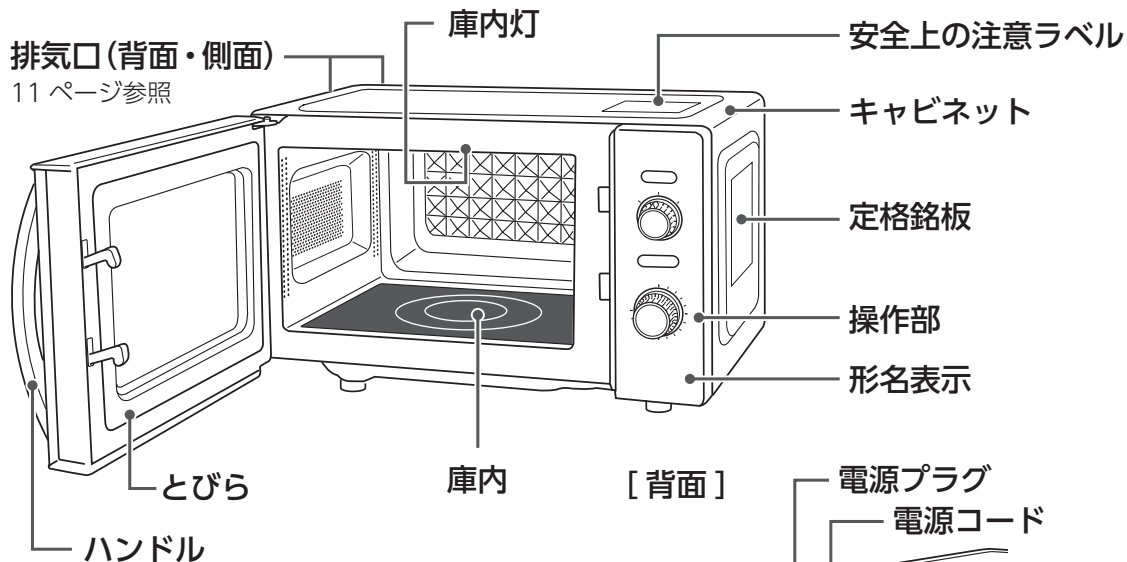
時間表示

時間合わせダイヤルを右に回すと加熱時間が点灯していきま。左に回すと時間が戻ります。(時間表示が消灯していきま)加熱中は、残時間が点滅しま。

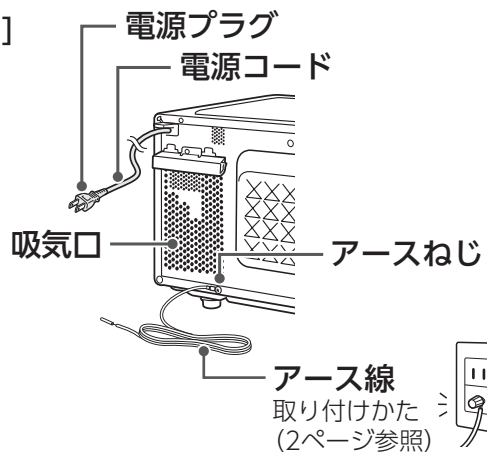
本体

庫内の汚れはすぐに拭き取ってください。

[正面]



[背面]



準備と確認

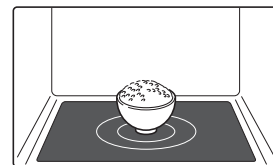
使える容器・使えない容器 / 各部のなまえとはたらき

出力・時間を合わせて レンジで加熱する



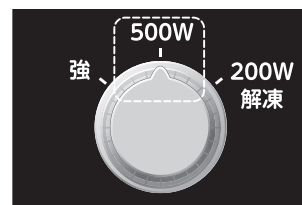
1 食品を庫内中央に置き、とびらを閉める

- 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。



2 出力設定ダイヤルを回して、強、500W、200Wから出力を選択する

- 強…520W (50Hz電源のとき)
650W (60Hz電源のとき)



例：500Wを選択

3 時間合わせダイヤルを回して、加熱時間を設定する

- 加熱時間を設定すると自動的に加熱を開始します。
- 最大設定時間：15分
- 加熱時間の設定単位
1分未満…20秒単位
1～5分…30秒単位
以降7分、10分、12分、15分
- とびらが開いた状態では、時間設定を受け付けません。とびらを閉めて、設定してください。
- 途中で加熱を止めるときは、時間合わせダイヤルを「0」の位置に戻すか、とびらを開けてください。



例：1分に設定した場合

お願い

- ミックスベジタブルの少量でのあたためはしないでください。火花が出たり、発煙・乾燥することがあります。



▶ブザーが3回鳴り、加熱終了

- 食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。(5分間)とびらを開けると止まります。
- 容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
- 加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。ファンが動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。

■途中で加熱時間を増減したいとき

- 加熱中に時間合わせダイヤルを回して加熱時間を増減する
1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め、最大設定時間までです。

●食品に合わせてラップを使う

- あたためはラップ不要ですが、メニューによってはラップをかけて加熱します。詳しくはレンジ加熱の設定時間の目安を確認してください。

- 加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。仕上がりがぬるい場合は様子を見ながら加熱時間を追加してください。
- 途中でとびらを開けると加熱時間の設定が取り消されます。加熱を続ける場合は、とびらを閉めて再度加熱時間を設定してください。

レンジ加熱の設定時間の目安

警告



食品は加熱しすぎない
発煙・火災の原因となります。

禁止 ・時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。



飲みもの・油脂の多い食品などは加熱しすぎない
取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。

禁止 ・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。
・時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。

出力と時間を設定する調理時間の目安です。加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。分量を半分にしたら、加熱時間も約半分にしてください。

- 容量の単位：ml = cc
- 常温：約20℃、冷蔵：約10℃、冷凍：約-20℃

注意！



レトルトパウチ食品や缶詰などはあたためないでください。発火・破裂・製品の破損・けが・やけどの原因になります。

- ・市販の冷凍食品や加工品は、パッケージの記載内容を参考にして様子を見ながらあたためてください。
- ・ポップコーンはパッケージの加熱方法に従って、必ず近くにおいて様子を見ながら調理してください。

あたため (レンジ500W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ごはん	1杯(150g)	約1分	-
スープ・みそ汁	1杯(150ml)	約1分30秒	-
野菜の煮物	150g	約1分30秒	-
カレー・シチュー	200g	約2分30秒	する
シュウマイ	100g(9個)	約1分	する
中華・肉・あんまん	1個(90g)	約40秒	する

野菜のゆでもの (レンジ500W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
じゃがいも	1個(150g)	約4分	する
かぼちゃ	150g	約3分	する
にんじん	100g	約2分	する
ほうれん草	100g	約2分	する
キャベツ	100g	約2分	する
ブロッコリー	100g	約2分	する

飲みもの (レンジ500W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
牛乳(冷蔵)	1杯(200ml)	約1分30秒	-
酒かん(常温)	とっくり1本* (160ml)	約40秒	-
水(常温)	1杯(200ml)	約1分30秒	-
コーヒー(常温)	1杯(150ml)	約1分	-

- *加熱ムラを小さくしたいときは、とっくりの首の細い部分をアルミホイルできちんと巻いてください。
・アルミホイルが庫内壁面・底面・とびらに触れると火花が出たり、とびらのガラスが割れることがありますので、触れないよう注意してください。

冷凍ゆで野菜の解凍 (レンジ500W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
枝豆	100g	約2分	する
さといも	100g	約2分	する
かぼちゃ	150g	約3分30秒	する

冷凍した食品のあたため (レンジ500W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ごはん(冷凍)	1杯(150g)	約3分	する
カレー・シチュー(冷凍)	150g	約5分	する
シュウマイ(冷凍)	100g(7個)	約2分30秒	する
中華・肉・あんまん(冷蔵)	1個(90g)	約1分30秒	する

- ・カレーなどろみのある食品は、あたたまったら全体を混ぜ合わせてください。

冷凍の肉・さしみの解凍 (レンジ200W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
肉	100g	約2分	-
	200g	約4分	-
	300g	約5分	-
さしみ	100g	約1分	-
	200g	約2分	-
	300g	約2分30秒	-

- ・ラップやふたをしなくて、発泡トレイのまま解凍してください。発泡トレイがない場合は、平らなお皿に置いてください。

上手に使うコツ

ごはん・おかずのあたため

● 室温や冷蔵の食品はラップをしないで加熱する

(ラップをする食品もあるので9ページを参考にしてください)

- ごはん…かたまりをほぐし、冷蔵のごはんなど固めものは水を振りかけて加熱します。
- 煮物…煮汁を切って加熱します。煮魚など身がはじけるおそれのあるものは、ラップをします。
- むしもの…パサついているときは霧を吹いて加熱します。

● 冷凍した食品は器にのせて、ラップをして加熱する

- 冷凍ごはん…ラップに包んである冷凍ごはんは、皿の上のにのせて加熱します。

冷凍ごはん150g (茶わん約1杯分)



平らにして、ラップでぴったり包む

- 丸めたり、大量のごはんをひとまとめにすると、中まであたたまりにくくなります。
- 保存容器や保存袋などに入れると、うまくあたたまりません。

● カレーや八宝菜のようなとろみのある食品はラップをして加熱する

- 深めの容器に入れ、ラップをして加熱後、混ぜ合わせます。

● 複数の食品をあたためるときは

- 食品は中央に寄せて置きます。
- 食品の分量・初期温度・種類をそろえます。
- 食品の分量が極端に異なったり、あたためる前の食品に温度差があると、均等にあたたまりません。

野菜のゆでもの

■ 根菜：じゃがいも／さといも／かぼちゃなど

- 水洗いして水がついたまま平皿にのせ、平皿ごとラップをして加熱します。

丸ごとゆでるとき

- 平皿ごとラップをして加熱し、加熱後は庫内から取り出し、ラップをしたまましばらく(約5分)おいておきます。(食品が乾きやすいので、ラップは取らずにおいておきます)
- 2個以上のときは仕上がりを同じにするため、大きさをそろえます。
- 丸くて高さのある大きなじゃがいもは長めに加熱したり、途中で上下をひっくり返したりしてください。



切ってゆでるとき

- 皮をむいて大きさをそろえて切り、水をふって平皿にのせ、平皿ごとラップをして加熱します。

■ 葉菜：ほうれん草／ブロッコリー／キャベツなど

- 水洗いして食品のみをラップで包み、平皿にのせて加熱します。

- 葉と茎を交互に重ね、太い茎には十文字に包丁を入れて、ラップで包みます。
- できるだけ幅広く包み、平皿からはみ出さないようにします。
- 量が多いときは半分に分けてラップで包みます。



肉や魚の解凍

● 解凍する食品の厚さ、複数解凍するとき。

- 上手に解凍できる厚さは3cmまで。厚さは均一にして、周囲に薄いところがないように準備します。同時に2つ以上解凍するときは同じ種類、同じ大きさのものをそろえます。



● アルミホイルで、変色や煮えを防ぐ。

- 魚など不均一な形の場合に、薄い・細い部分に巻いて、加熱しすぎを防ぎます。
※アルミホイルはきちんと巻いてください。アルミホイルが庫内壁面・底面・とびらに触れると、火花が出たり、とびらのガラスが割れるおそれがありますので触れないように注意してください。



● 解凍する食品の形状や種類によっては、部分的に煮えたり、かたいところが残ったりすることがあります。

お手入れのしかた

お手入れはすぐにこまめにがポイントです

警告



本体のお手入れは、電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う

プラグを抜き冷めてから 感電・けが・やけどの原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



庫内に付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しない

禁止 電波が汚れた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火などのおそれがあります。また、さびの原因になります。

・付着した場合は、本体が冷めてから必ずその都度拭き取ってください。

調理のときはた

上手に使うコツ / お手入れのしかた

次のものは使わないでください

損傷、変色、変形、発煙、発火、さびなどの原因になります。また、汚れが落ちにくくなります。



禁止



ベンジン
シンナー



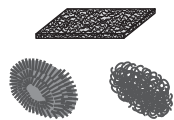
オーブンクリーナー
粉末クレンザー
漂白剤



住宅家具用洗剤
(アルカリ・酸性など)



可燃性ガス(LPGなど)入り
スプレー洗剤



硬い部分
(研磨剤入り不織布)は
使わないでください。
スポンジ部で洗ってください。

たわし・金属たわし
硬めのスポンジ、研磨剤入りナイロンたわし



熱湯

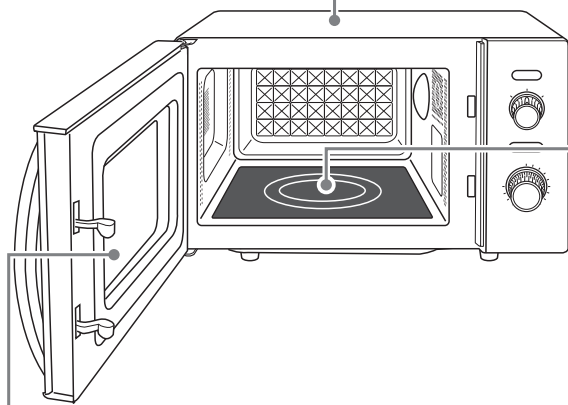
キャビネット・とびら

かたくしぼった、ぬれ布巾で拭く

- ・ひどい汚れは薄めた台所用洗剤(中性)をしみ込ませた布巾で拭き取り、必ず洗剤分を拭き取ってください。

お願い

- ・水をかけないでください。さびたり故障したりすることがあります。



庫内底面

庫内の汚れはぬれ布巾ですぐ拭き取る。

- ・汚れが落ちにくいときは、汚れた部分に液体クレンザー(クリームクレンザー)を付け、2分ほどおいて、丸めたラップでこすって汚れを落としてください。
- そのあと、ぬれ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

お願い

- ・周囲のシリコンパッキンや庫内塗装面は傷が付くのでこすらないでください。
- ・金属たわしや先のとがったものでこすったり、衝撃を与えたりしないでください。傷付いたり、割れることがあります。

庫内・とびらの内側

かたくしぼった、ぬれ布巾で拭く。

- ・落ちにくい汚れは、ぬれた布巾を汚れの上に置いて30分ぐらいふやかしてから拭きます。汚れがひどい場合は薄めた台所用洗剤(中性)をつけた布で拭き取り、ぬれた布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

調理後に結露した水分は、冷めてから乾いた布で必ずその都度拭き取る。

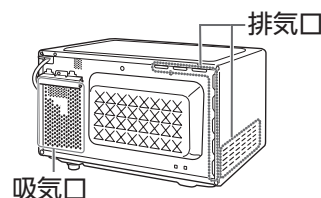
お願い

- ・たわしやフォークなど先のとがった物でこすらないでください。傷付いたり、割れる原因になります。

吸気口・排気口

ほこりを拭き取る

- ・換気できずに、故障の原因になります。



吸気口

排気口

修理を依頼される前に

次のような場合は故障ではありません。

現象	理由(処置)
まったく動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停電ではありませんか。 ・ 電源プラグが抜けていませんか。 ・ ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ・ とびらがきちんと閉まっていますか。途中でとびらを開閉しませんでしたか。 ・ 電源が切れた状態で、ダイヤル操作をしていませんか。 一度とびらを開けると電源が入ります。
調理中、調理後に音(ファン)がしたり、しなかったりする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気部品などを冷却するファンの音で故障ではありません。 ・ 調理後、冷却ファンが回ることがありますが故障ではありません。 冷却ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。
調理中、「カチカチ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品内部のスイッチ切り換え音です。故障ではありません。
調理の開始時および途中で、「ポコン」という音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンジ調理時の動作音で故障ではありません。
電源プラグをコンセントに差し込んで、何も表示しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ とびらを閉じた状態で、電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。 一度とびらを開けると、電源が入り時間表示の「0」が点灯します。
調理中に火花が出た	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金属容器、金網、金串を使用していませんか。 ・ 金・銀粉、金・銀箔使用の容器は火花が飛ぶことがあります。 ・ 庫内が汚れていませんか。電波が汚れた部分に集中して、火花が出ることがあります。 汚れは拭き取ってください。(11ページ参照)
食品があたたまらない 食品があたたまりにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品が金属容器・アルミホイルなどでおおわれていませんか。 ・ 加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。
加熱後、 庫内やとびら内側に水滴が付着する 水滴が落ちる	<ul style="list-style-type: none"> ・ メニューによっては、食品から出た水蒸気が付着します。 水滴は冷めてから、乾いた布で拭き取ってください。 また、設置面が弱かったり傾いていると、水滴が落ちやすくなります。 十分な強度を持った平らな場所に置いてください。

修理を依頼される前に次のことを点検してください。

現象	理由(処置)
ブレーカーが落ちた	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の電気容量(電力会社との契約容量A)以上で電気製品を使用していませんか。 他の必要のない電気製品の電源をOFFにして、ブレーカーを復帰させてから再度使用してください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル

0120-1048-76

受付時間：月～土 9:00～18:00 日・祝日 9:00～17:00

*当社指定休業日を除く

携帯電話・PHSなど **0570-0570-33** (通話料：有料)

FAX **022-224-6801** (通信料：有料)

※お電話をいただく際には、番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

- この東芝電子レンジには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
- この東芝電子レンジの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。ただし発振管(マグネトロン)は2年です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- 電子レンジの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

- 12ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

出張修理

■ 保証期間中は.....

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
※一般家庭用以外(たとえば、業務用・車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷は有料です。

■ 保証期間が過ぎている場合は.....

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代・出張料等で構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術員を派遣する料金です。

■ ご連絡いただきたい内容.....

品名	電子レンジ
形名	ER-S17E6
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	電話番号

お買い上げ店名を記入されておくと便利です。

■ ご転居のときは.....

- この東芝電子レンジは、電源周波数50Hz/60Hz共用です。周波数の異なる地域に、ご転居されてもそのままお使いいただけます。

こんなときは

修理を依頼される前に / 保証とアフターサービス

仕様

電源	AC100V 50/60Hz共用		
定格消費電力	950W(10.2A) / 1300W(14.0A) (50/60Hz)		
高周波出力	強(50Hz: 520W※1、60Hz: 650W※1)・500W相当・200W相当 出力切換		
発振周波数	2450MHz		
外形寸法	458(幅)×349(奥行)×281(高さ)mm		
庫内有効寸法	273(幅)×323(奥行)×181(高さ)mm		
質量(重量)	約12kg		
コードの長さ	1.5m	総庫内容量	17L
区分名	A	電子レンジ機能の年間消費電力量	59.5kWh/年
年間待機時消費電力量	0.0kWh/年	年間消費電力量	59.5kWh/年
タイマー時限	レンジ強・500W・200W: 15分		


※1 定格高周波出力520/650Wは短時間高出力機能(最大8分)であり、定格連続高周波出力は350Wです。350Wへは自動的に切り換わります。

- 実際にお使いになるときの消費電力量は、使用回数や使用時間、食品の量、周囲温度などによって変化しますので、あくまで目安としてご覧ください。
- コンセントに電源プラグを差し、とびらが閉まった状態で時間表示が消灯しているときの消費電力は「0」Wです。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値です。(区分名も同法に基づいています)
- 総庫内容量とはJISの規定に基づいて算出された容量のことです。

この製品は日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

 愛情点検	長年ご使用の電子レンジの点検をぜひ!	
	このような症状はありませんか。	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。● 時間合わせダイヤルを回しても食品が加熱されない。● 自動的に切れないことがある。● 使用中に異常な音や臭いが出ることがある。● 庫内の壁面が汚れ、スパーク(火花)または煙が出ることがある。● とびらに著しいガタや変形がある。● 触ると電気を感ずる。● その他の異常や故障がある。
		故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。(技術のあるサービスマン以外の方は絶対にキャビネットをはずさないでください)

東芝ホームテクノ株式会社

家電事業統括部

〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1

THT-TECE(C)